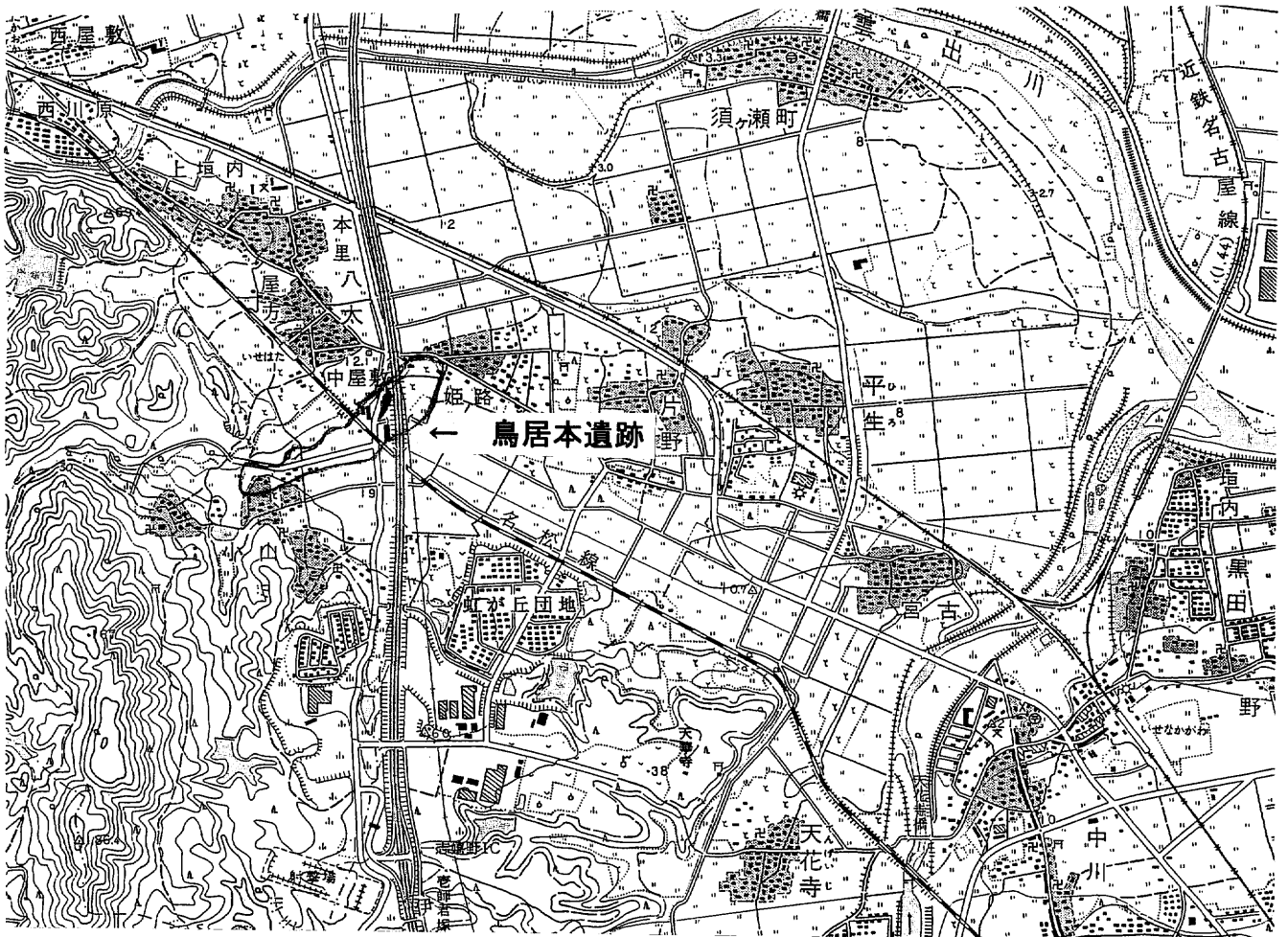


とりいもといせき
鳥居本遺跡

出土資料展示会資料

平成 21 年 10 月 10 日 (土) 10:00~15:00

三重県埋蔵文化財センター

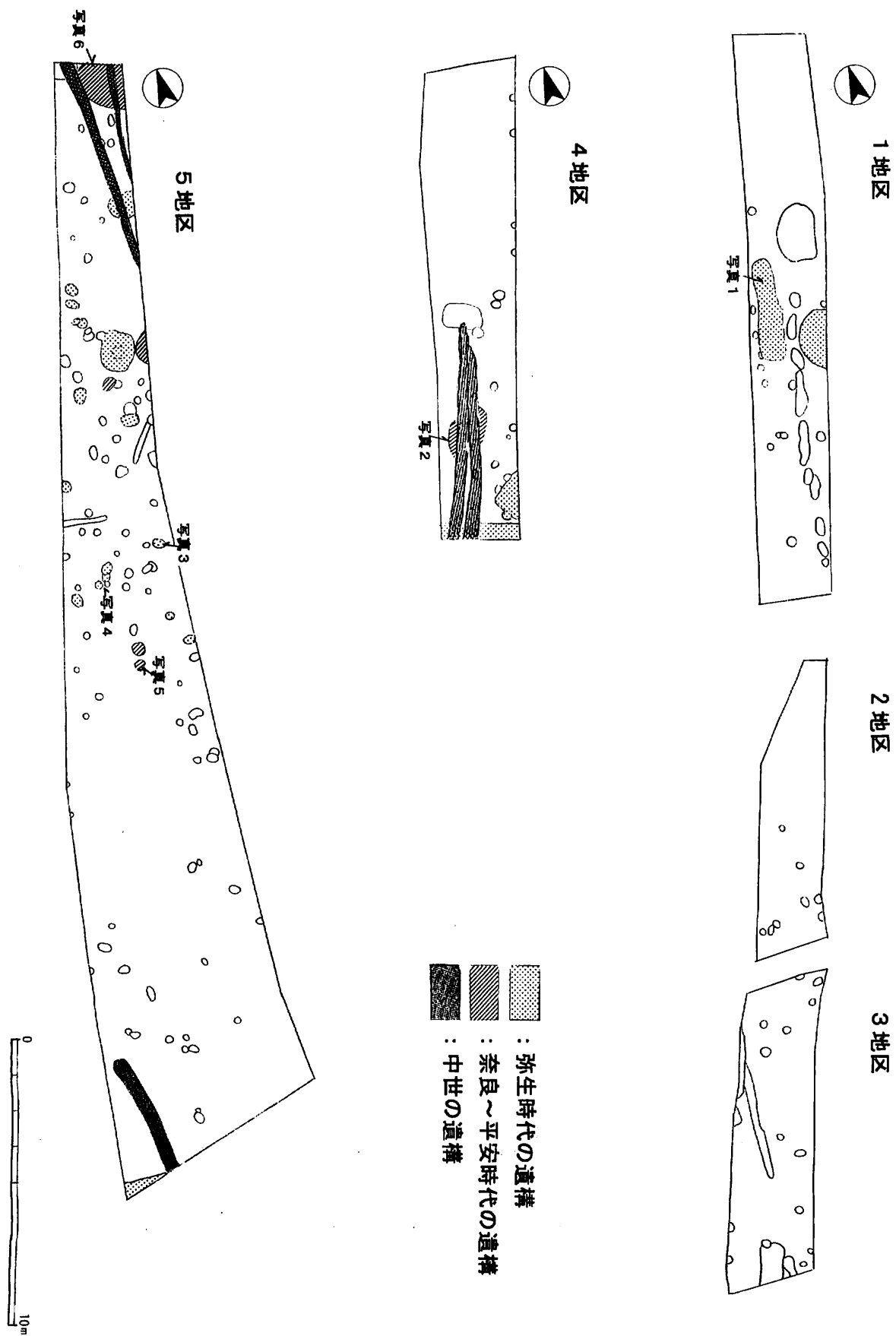


遺跡の位置 (縮尺は 25,000 分の 1)

1 はじめに

鳥居本遺跡は、津市一志町小山の丘陵裾きゅうりょうすそから延びる段丘上だんきゅう (標高約 16m) にある遺跡です。鳥居本遺跡は、これまでに昭和 48~49 年、昭和 62~63 年、平成 11 年に発掘調査が行われ、弥生時代やよいじだいの集落や墓などが確認されています。

遺跡の中を通る県道の拡張工事に先立ち、三重県埋蔵文化財センターで、今年の 6 月から 8 月にかけて発掘調査を行いました。



遺構平面図（縮尺は200分の1）

2 今回の調査でわかったこと

今回は、県道沿いに南北 110m、幅 2～6 m の細長い範囲で調査を行いました。

(北から 1 地区、2 地区、・・・5 地区と番号をつけています)

その結果、弥生時代中ごろ (2,000 年ほど前) の土坑 (大きな穴) や小穴、奈良～平安時代前半 (1,100～1,300 年ほど前) の土坑や小穴、鎌倉時代前半 (800 年ほど前) の溝などが見つかりました。これらの遺構 (地面に残された生活の痕跡) は、北端附近と中央部に集中していました。今回の調査範囲が細長かったため、建物跡などを確認することはできませんでしたが、ほぼ完全な形に復元できる土器なども出土し、この地域の歴史を知る貴重な手がかりとなりました。



調査後の状況 (南から)



写真1 弥生時代の壺です



写真2 弥生時代の土器が数点ありました



写真3 弥生時代の^{にたきよう}煮炊用の土器です



写真4 弥生時代の壺です
(口の部分が欠けています)



写真5 奈良時代のお椀です



写真6 平安時代のお椀です

遺跡名：鳥居本遺跡
原因事業名：平成21年度地域活力基盤創造交付金（道路）事業
（主）松阪一志線
調査主体・担当：三重県教育委員会・三重県埋蔵文化財センター
調査協力：地元自治会・津市教育委員会、津建設事務所
所在地：三重県津市一志町小山
調査期間：平成21年6月10日～平成20年8月3日
調査面積：301㎡